

2024年度

第1四半期決算

期間：2023年10月1日～12月31日

2024年2月8日、ドイツ・ミュンヘン

2024年度に向けての順調なスタート

シーメンスAGのローランド・ブッシュ代表取締役社長兼CEOは、「シーメンスは、今四半期も好調な業績を達成し、収益性の高い成長軌道を維持しました。Microsoft および AWS とのパートナーシップを拡大し、人工知能をさらに身近なものにしました。シーメンスのお客様からは、デジタルおよびサステナビリティの変革をサポートするテクノロジーパートナーとして、当社に全面的な信頼を寄せていただいています」と述べています。

シーメンスAGのラルフ・P・トーマスCFOは、「当社のフリーキャッシュフローは10億ユーロを超え、前年同期比で明らかに増加しました。当社は引き続き実行力に注力し、2024年度の見通しを承認しています」と述べています。

- 第1四半期の売上高は、為替換算とポートフォリオの影響を除いた比較可能なベースで6%増加し、受注は前年同期比で2%増加しました。
- 名目ベースでは、売上高は2%増の184億ユーロ、受注は前年同期比でわずかに減少し、223億ユーロとなり、受注高比率は1.21となりました。
- インダストリアルビジネスの利益は27億ユーロで、利益率は15.8%で、いずれも前年同期比でわずかに増加しました。
- 当期純利益は56%増の25億ユーロで、これにはシーメンス・エネルギー・インベストメントからの5億ユーロが含まれます。対応する基本EPSは3.03ユーロ、買収価格配分会計前EPS(PPA前EPS)は3.19ユーロでした。シーメンス・エネルギー・インベストメントに関連する1株当たり0.61ユーロを除いたPPA前のEPSは2.58ユーロでした
- フリーキャッシュフローは、インダストリアルビジネスが牽引し、10億ユーロに急増しました。

2024年度の初めに、デジタルインダストリーズのモーションコントロール事業の一部であった低電圧およびギヤードモーターおよびモータースピンドルの事業活動は、2023年度の統合経営報告書に記載されているようにポートフォリオ会社に移管されました。それに応じて、前年度の数値が表示されています。

SIEMENS

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第1四半期		増減 (%)	
	2024年度	2023年度	実績	比較
受注	22,298	22,620	(1)%	2%
売上	18,412	18,070	2%	6%
利益 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	2,723	2,654	3%	
内：退職手当	(41)	(33)		
利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	15.8%	15.7%		
退職手当を除く	16.0%	15.9%		
継続事業からの利益	2,535	1,644	54%	
内：退職手当	(51)	(47)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)	13	(8)	n/a	
純利益	2,548	1,636	56%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	3.03	1.87	62%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	3.19	2.08	53%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	1,048	86	>200%	
キャッシュ・コンバージョン・ レート	0.41	0.05	>200%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	23.0%	14.3%		

- モビリティ事業の受注量は、大量受注の増加によりほぼ倍増し、デジタルインダストリーズとSiemens Healthineersの減少を相殺した。スマートインフラストラクチャーの受注は高水準で推移。
- ほとんどの産業事業の収益成長は、モビリティ事業の2桁増によって牽引された。デジタルインダストリーズは緩やかに減少。
- 為替換算の影響は、受注の伸びからは3%ポイント、収益の伸びからは4%ポイントほど。ポートフォリオ効果の、数量開発に及ぼす影響は最小限にとどまりまった。
- インダストリアルビジネスの利益:スマートインフラストラクチャー事業を筆頭に、ほぼすべてのインダストリアルビジネスで利益が増加し、好調な営業実績と過去のポートフォリオ活動に関連する1億ユーロのプラス効果により、過去最高の四半期利益を記録。デジタルインダストリーズの利益は、オートメーション事業の低下により減少。デジタル産業とスマートインフラストラクチャー事業は為替の大幅なマイナス影響を計上。
- インダストリアルビジネス以外では、シーメンス・ファイナンシャル・サービスの税引き前利益が、株式投資の株式売却による1億ユーロの利益により大幅に増加。シーメンス・エナジー・インベストメントは、シーメンス・エナジーAGの株式8.0%をシーメンス・ペンション・トラストに譲渡し、それに伴う持分法適用会計を終了したことで、5億ユーロの利益を計上。
- フリーキャッシュフローの増加は、主にインダストリアルビジネス全般における運転資本管理の改善により、インダストリアルビジネスのフリーキャッシュフローが13億ユーロ(2023年度第1四半期:4億ユーロ)と大幅に増加したことによる。
- フリーキャッシュフロー以外の21億ユーロのキャッシュアウトフロー(シーメンス・エナジーからインドのシーメンス・リミテッドの株式18%を取得したことによる)を計上。
- 2023年12月31日現在の年金および類似債務引当金は、15億ユーロ(2023年9月30日:14億ユーロ)とわずかに増加した。計画資産に対するプラスのリターンと、前述のシーメンス・エナジーAGの株式譲渡による効果は、割引率の引き下げによる影響によって相殺された。
- ROCEは、当期純利益が前年同期比で大幅に増加したことなどにより増加。